## 令和 2年度 学校評価表

学校教育目標

社会で通用する基礎・基本を磨き、 よりよい自分、よりよい学校、よりよい社会を目指そうとする生徒の育成

尾道市立因島南山学校

			X*************************************		Olitica (1970 ) o casao, raz-o-aso, raiv-existe pe os ix						尾道市立因島南中			
	評価計画						自己評価		学校関係者評価				改善計画	
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f目標値	7月 g 達成 值	1月 g 達成 値	h 達成度		j 結果と課題の説明	1	k 二次評価	\	1コメント	m 改善案
授業が優大の生徒指導の場で 授業が優大の生徒指導の場で あるという配膜を持ち、授業 に生徒指導の3個機能の た授業つくりを行う。	〇「主体的に学ぶ」 意欲を育て る 授業づくりの推進 学習課題の工夫	<ul><li>○授業改善の推進</li><li>■「学びに向かう意欲」を向上させるための 授業の工夫を意識した授業改善の推進</li></ul>	「授業の課題について 『なぜだろう』『やってみたい』 と思う」生徒の割合	90%										
		■「課題発見・解決学習」の単元開発・実践 による授業改善の推進	「自分達の学んだことを人生や社 会に生かそうと思う」生徒の割合	90%										
	0 F#+==# < mm mm . 0	●基礎学力の定着に向けた 指導の徹底  ■「学びのサイクル」の充実・発展 (本時のめあての工夫、家庭学習の充実)  ■「南中のイム、週まとめテスト)」の内容及び 実施方法の見直しと改善	「できた」「わかった」と 授業で感じている生徒の割合 (全教科平均)	85%										
			「自分の学習のためになるよう南 中タイムを活用している」生徒の 割合	90%										
		■ 家庭学習習慣の定着	1日の家庭学習の時間 1 時間以上の 生徒の割合	85%										
「自分も起点」という位置に 立ち、協働して取り組む教職 員組織の育成。 向上心を持ち、確かなゴール イメージを持った取組によ り、生徒の態欲を育成する。	ゴールイメージを持ち、授業や 取組を進められる教職員の育 成。	◎ 授業のめあて 学習課題の工夫	授業交流期間年3回以上の実施 全職員授業公開	100%										
	常に向上心を持ち,実行できる 生徒の育成。	<ul><li>◎向上心・実行力の育成</li><li>■「特別な教科 道徳」の充実</li></ul>	「『道徳の時間』は自分の成長に 役立っている」と捉えている生徒 の割合	90%										
		■「プラス・ワン」の実践を通した向上 心・実行力の育成	プラスワンが達成できるように努 カしている生徒の割合	90%										
学校に、規律と自律。 安心感に介決感があり。 生能が、生き生きと 学校生活を送ることが できる	〇生活習慣の改善と きか細やかな見取りと対応による 不登役生徒の郷少	<ul><li>●不登校の未然防止 不登校生徒への支援の充実</li><li>■教育相談・家庭連携・関係機関等との連携 の充実</li></ul>	アセス「生活満足感」の向上 (昨年度 平均値52)	55										
		・SСとの教育相談委員会の充実。 ・SSWの活用による生活改善の推進  ■生徒理解・安心できる集団づくりの推進 (アセス活用,面談、学級経営の充実)	昨年度長期欠席生徒(11人)の うち好ましい変化が見られるよう になった生徒の割合(昨年度5 4%)	60%										
	〇自らを譲するとともに。 学校生活に充実感を見いだせる 生能の育成	<ul><li>○生徒指導体制の改善</li><li>■全教職員による指導の徹底、家庭連携の充実</li></ul>	「学校や社会のルールを 守っている」と思っている 生徒の割合	95%										
		■充実感・達成感の向上 (生徒主体の活動の充実)	「自分の役割を自覚して、その責任を果たすことで、まわりの人に役立っていると感じたことある」と捉えている生徒の割合	90%										
		■挨拶の活性化	学校でも地域においても 「自分から積極的に挨拶を している}生徒の割合	90%										